

# JR東海労ニュース

No. 824

2006年7月5日

JR東海労働組合

## すべての戦争体制に反対！

7月5日未明から「北朝鮮がミサイルを6発発射した」と報道されています。多くの国があわただしい対応に追われ、声明を発し制裁について発表をしています。

私たちは、北朝鮮がミサイルを発射したことが事実ならば、この行為を断じて許しません。また、同時に、このことに対して各国が武力・戦争体制に突き進むことに対して反対します。

戦争というものは、権力者の利益のために、それは常に市民と労働者の犠牲によってつくられるものです。そのことはイラクに対する武力行使・戦争によってもあきらかにされました。

今回の事態に対して、いたずらに戦争を煽ることをせずに、武力・戦争によらず、市民と労働者が安心して生活できることを第一に考え、問題の解決に向かうことを世界各国に訴えます。

日本国憲法第9条の理念を、大いに世界に広げることこそ真の平和であり世界の市民、労働者の願いです。日本政府はそのことを肝に銘じて市民、労働者の立場で事態の解決に向かうことを要望します。